

信頼性評価技術の最新動向(環境・振動・落下・衝撃)セミナー

主催 (公財)福島県産業振興センター 共催 福島県ハイテクプラザ

モバイル/PC/通信端末、自動車の電子化は、加速的に増加し、コネクテッド、自動、電動化をテーマに突き進み、信頼性は「もう一段階上げること」が必要とされています。これに伴い試験も、環境因子だけでなく複合的な実施と評価が求められています。本セミナーでは、各試験の基礎～試験規格、事例や手法、最新傾向も踏まえご紹介します。

① 製品・包装設計のための落下・衝撃試験 13:00～14:10 講師:神栄テクノロジー株式会社 計測・試験機器事業部

落下衝撃は、製品の運搬や使用中に偶発的に発生し、製品の破損に直結します。そこで各企業は落下・衝撃試験を行うことで、製品品質を確保しています。ここでは、製品および包装設計の信頼性を高めることを目的とした落下・衝撃試験の基礎とともに、近年増加している高加速度衝撃試験の活用事例やデモ機を交え、解説いたします。

※出展・デモ予定:高加速度発生装置 HGP-150、加速度計測機ショックマネージャー、新製品:輸送環境記録 DER-PRO

② 振動試験 14:20～15:30 講師:IMV株式会社 テストラボ事業部

「輸送試験」「電子部品」向けの規格や実例をご紹介します。輸送試験の規格「JIS Z 0200」が改訂されました。改訂内容をご説明いたします。また、振動試験を正確に実施する上でのテクニックなど解説いたします。

※出展予定:小型振動試験機「m060」

③ 環境試験 15:40～16:50 講師:エスペック株式会社 テストコンサルティング本部

電子部品は様々な市場ニーズや用途に対応するため環境試験も多様化しております。IoT・5G向けの基板は、高集積及び小型化が進み、高密度実装された電子部品が実装されています。電子通信・電子部品の環境試験評価事例、航空など様々な業界の環境試験の規格と評価事例、今後日本でも拡大予想の HALT 試験の活用事例をご紹介します。 ※出展予定:ワンデバイスチャンバー、定温輸送保冷庫

□日 時 **令和5年6月6日(火) 13:00～17:00**

□場 所 福島県ハイテクプラザ(郡山市待池台1-12) 多目的ホール

□受講料 無料 □定員 30名

□締 切 令和5年6月2日(金)

□申込・問合せ先 (公財)福島県産業振興センター技術支援部(テクノ・コム) 竹内

〒963-0215 郡山市待池台 1-12(福島県ハイテクプラザ内)

Tel:024-959-1929 Fax:024-959-1889 E-mail: seminar@f-open.or.jp

下記申込書にご記入の上、FAX 又は E-mail にてお申し込みください。

----- **信頼性評価技術の最新動向セミナー 申込書** -----

企業名(業種)	()
所在地	(〒)
電話/FAX	電話: /FAX:
氏名(所属)	所属:
氏名(所属)	所属:

事務連絡担当者 部署: お名前: e-mail:

*この申込書でいただいた個人情報は、当センター各種セミナーのお知らせ、支援施策の情報提供に活用させて頂く場合がございますので、あらかじめご了承願います。